

獨協大学英語教育研究会

DUETA 第29回講演会

英語語彙指導、何をどこまで？ コーパスとCEFRが示す知識の広さと深さ

前回の学習指導要領改訂で語彙レベルが3000語から5000語に増加したことで、現場はかなりの負担感を感じています。

今使われている小中高の教科書の語彙は全体にバラバラで膨張気味なんです。

この統一感のなさをどうしたらよいのか、がこの講演のメインテーマです。

私が研究してきたコーパス言語学とCEFRの研究成果をご紹介します。英語の語彙指導の深さと広さに関しても解説しつつ、一部ワークショップ形式で、実際に皆さんが使っている英語教科書のテキストを分析してみて、どのような語彙の、どのような側面に重点を置き、どういった活動に結びつければよいのか、を皆さんと一緒に考えたいと思います。



©HIROKI YAMAGUCHI

投野由紀夫 先生

東京外国語大学大学院教授

ワールド・ランゲージ・センター長。専門はコーパス言語学、辞書学、L2語彙習得、CEFRの適用（CEFR-J）。PhD（英国ランカスター大学）。都立航空高専、東京芸芸大学、明海大学を経て現職。アジア辞書学会会長、英語コーパス学会会長など要職につき、国内外に研究成果を発表するだけでなく、国内ではNHK語学番組（『100語でスタート！英会話』、『基礎英語3』、『英会話フィーリングリッシュ』）、英和辞典（三省堂『エースクラウン英和辞典』、小学館『プログレッシブ英和中辞典』）、単語集（三省堂『チャックで英単語』、東京書籍『コーパス』シリーズ）等教材開発にも精力を注いできた。現在はCEFR関連のマルチタスク統合AI環境を作ることに興味がある。

入場無料

2026. 8.1 土

[時間] 15:00 - 17:00

[開場] 14:30

獨協大学 天野貞祐記念館 4階

A408教室 ZOOM 同時配信



事前申込制
7月31日まで
申し込みは
QRコードから

<https://www.dokkyodueta.org/>

獨協大学
DOKKYO UNIVERSITY